

富士山ネットワーク会議ロゴマーク決定



写真左から、
小室直義富士宮市長、大橋俊二裾野市長、
鈴木尚富士市長、若林洋平御殿場市長、
高橋宏小山町長

富士山ろくの魅力を
広く発信していきます

富士山ネットワーク会議

発 富士市
御殿場市・裾野市
小山町・富士宮市

富士山のすそ野に広がる4市1町で構成される「富士山ネットワーク会議」。
富士山を取り巻くまちに住む私たちが、互いに交流を深め、富士山ろくの魅力を広く発信するために、協力してさまざまな活動を展開しています。
今回は、活動内容と、構成市町の夏のイベントを紹介します。

これからロゴマークが多くの皆さんに親しまれるように、この形をしたお菓子をつくるなど、どんどん活用してほしいですね。

この色グリーン（緑）は、富士山を
ごみがないきれいな山にするという
意味から「クリーン」をイメージし
て使いました。

「輪」は、市町の位置や連携・強調を
表現。また、右上がりになっている
のは躍動感を表現してみました。

私は、昔から絵をかくことが大好き
です。今回の富士山ネットワーク
会議のロゴマークは、私と同じく絵
をかくことが好きな家族と相談しな
がら1週間かけて制作しました。



ロゴマークを作成した
深澤 富貴子さん
(鷹岡本町)

ロゴマークを活用してください

富士山ろくの静岡県側の4市1町（富士市・御殿場市・裾野市・小山町・富士宮市）が、観光や防災、環境などのさまざまな分野で連携。地域力を高めて共通認識のもと、課題の解決と発展を目指し、昨年5月に発足しました。



富士山ネットワーク会議とは？



各市町のご当地グルメが並んだ「富士のふもとの大博覧会」



新東名高速道路を歩いた「富士ふれあいウォーク」

●さまざまな分野で、

広域的に事業を展開していきます●

富士山ネットワーク会議は、参加自治体の広域行政に係る調整などを図るため、首長会議を年2回開催します。

また、各分野における課題の研究、事業実施などのため、研究会を開催していきます。

■今年度の課題など

☆印は実施済み

①防災研究会

・地震の発生や台風通過後など、災害時の対応についての情報交換を行います。

②富士山の自然と環境を守る会

・富士山の環境美化・環境保全活動の検討をしていきます。

③広報研究会

・各市町の広報紙に富士山ネットワーク会議のコナー、または、このエリアの情報掲載します。また、年に1・2回程度の特集を検討していきます。

④観光・産業研究会

☆「富士のふもとの大博覧会」では、ご当地グルメなど出展が多数ありました。富士山静岡空港の開港を契機とした観光振興を進めます。

・各市町の資料館や図書館などにある富士山に関する情報の一元化を目指します。

・富士山ビューポイントを選定し、紹介に向けて検討していきます。

・富士山写真展共同開催について検討をします。

・富士登山道の整備、登山客への圏域の観光PRを進めます。

・共通マップ作成やスタンプラリーの開催など、ご当地グルメのネットワーク化を目指します。

⑤スポーツ事業研究会

☆開通前の新東名高速道路を歩く、「富士ふれあいウォーク」の参加対象者を4市1町に拡大して実施しました。

・環富士山（山梨県側も含む）を一周するサイクリングイベントに協賛します。

⑥そのほかでは

・富士山ネットワーク会議圏域での住民意識調査などを検討しています。

今後、さまざまな事業を実施したり、課題の研究を重ねたりしていきます。

★富士山ネットワーク会議に

関する問い合わせ

富士市役所企画課

☎(55) 2718 FAX(53) 6669

富士市内では、この夏「富士川花火大会（7月24日）」と「富士かぐや姫まつり（7月25日）」の2つに模様がえした「富士まつり」や甲子神社祭典（8月7・8日）などさまざまなイベントが開催されます。次ページでは、富士山ネットワーク会議の構成市町がこの夏開催するイベントを紹介いたします。



「富士市環境フェア」での「環境部会」による展示



災害時の対応を話し合う「防災研究会」